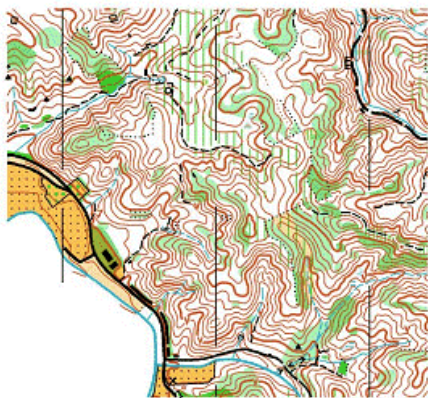


あのすごいテラインが帰ってきた！良質テラインとして知られる「青山高原」のすばらしさを良質の地図とコースでぜひとも味わっていただきたい。開催期間は2004年3月12日から14日まで。



関西地方では随一の品質を誇る青山高原付近のテライン。図は公開されているトレーニングテライン

封印解除！

長い間クローズされていたテライン「青山高原」がいよいよ復活する。

このテラインは関西に見られる細かい地形に加え、走行可能性が高いことで定評がある。今回、この良質テラインの特長がフルに生かされるよう、念入りな調査と確認が行われている。委員会のメンバー一同、かつてないハイレベルなインカレの開催を実現したいと考えており、それに向けて最後まで頑張っていきたい。学生の方はもちろん、多くの方に参加いただき、このすばらしいテラインを体験していただきたい。



また、より多くの方に、より多彩なオリエンテーリングの顔を知ってもらうために、トレイル0も開催される。こちら準備に全力を上げており、クラシックやリレー同様、満足のいくものになるだろう。国内でのトレイル0の開催はまだ少ないので、この機会にぜひ参加していただきたい。



夏に行われた試走の様子

大会の後には観光も

青山高原は見晴らしの良い高原で、標高756mの三角点付近にある展望台からは伊勢湾などを見渡すことができる。

今回の舞台となる地域は「伊賀の国」として知られ、松尾芭蕉の生誕地である。上野市の芭蕉翁記念館では、芭蕉直筆の作品や現代に至るまでの連歌俳諧に関する展示が数多くある。また、伊賀流忍者の地としても有名で、同市の伊賀流忍者博物館では、屋敷自体にどんでん返しなどの仕掛けが数多く施されており、忍具の実演もある。

また、この時期の京都、大阪、奈良は過ごしやすい気候なので、時間のあて方は少し足を伸ばしてみてもいいだろうか。

(インカレ実行委員会)

最後の春ロングを走ろう

10年前に比べて学連の加盟員数が半減している。インカレが1000名の参加者を数えたのはもう過去の話だ。こうした加盟員の減少はインカレの資金状況を直撃している。

春のインカレではクラシックレースとリレーのレースのために2枚の地図を用意している。しかも日本最高品質の地図を作るべく労力と情熱と資金が注がれている。

このようなインカレの運営方法がだんだん立ち行かなくなっている。今まで黒字体質だったインカレが、もはや黒字を生まなくなっている。そこで日本学連では、地図や運営品質を落とさずに最高品質のインカレを作る方法を模索している。

そしてその改革が2004年度より実施される。2004年度以降の春のインカレではリレー競技とミドル競技(ショート)を開催する。基本的に同一地図、同一会場で行う。そのかわりこの地図品質は最高のものを用意する。これで地図作成コストは大幅に削減できる。

2004年度以降、ロング競技(クラシック)が秋に開催となる。インカレロングとも言えるこの大会は、単独イベントにはせず、他の大会と併設されるような形をとる。それぞれの年によって開催形態を模索するだろうが、当面2004年度のインカレロングは11月に愛知県で開催される見通しである。

春に開催されるロング種目は今回の2003年度大会が最後となる。インカレの原点ともなった3月のロング種目。その歴史を噛みしめつつ走ってみてはどうだろうか。インカレ実行委員会は併設大会を設け、多くの皆さんの参加を待っている。

(木村佳司)